

園児が『お祭りごっこ』で
お年寄りと交流

～デイサービス利用者が次々と来店～

7月25日、中央保育園で未就園児やデイサービス利用者を招き、『お祭りごっこ』が開かれました。
わたあめをほおぼったり、お面をつけたりとお年寄りも園児も楽しく交流しました。



■後列左から：とみさわりゆうじくん、やまだありさちゃん、あいばゆかちゃん
■前列左から：たけだりょうすけくん、さとうりょうすけくん、こばやしあかしくん

ぼくらの自信作

■和納第二保育園 五歳児
作品名：ふれあい動物園

☆☆

①可燃ごみの資源化
再利用できる品物は、村民と行政が一体となってごみの資源化及び減量化を行う必要がある。

■ごみの資源化・減量化の実施に向けて
「ごみの減量化」について岩室村廃棄物減量等推進審議会から中間答申がありましたので、主な内容をご紹介します。

■岩室村のごみ処理の現状と課題
ごみの排出量は平成5年度の3,900tから平成10年度には5,348tとなっており比較で37%の増量となっている。その後増加傾向に伴ってごみ処理経費も増加し、減量化は急務である。排出すれば行政が処理する意識が習慣化され、減量化の促進を妨げている。排出される物の中には紙類をはじめ相当量の資源ごみが含まれている。

ごみの減量化に向けて
岩室村廃棄物減量等推進審議会が中間答申

②古紙のリサイクル
新聞紙、雑誌等については、リサイクルの必要性を村民に啓発し、集回収できる団体等を募り、ごみとして搬出しないで資源化を推進する。

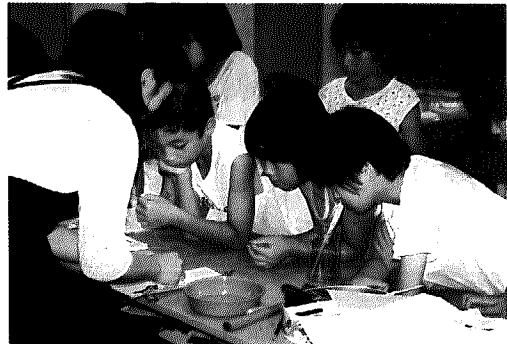
③不燃ごみの資源化
空き缶・ビン類、ペットボトルは鋳湯清掃工場の更新とともにリサイクルプラザへの搬入が計画されている。今後ステーション方式による回収場所と回収の回数及び回収容器等の検討が必要である。

④リサイクル団体について
古紙等の集団回収を実施するため、団体及び



▲村長に手渡す三宮勝彌会長(写真右)

■ごみの有料化等について
リサイクルの一層の推進、また、ごみ減量の有効な手段として考えられている。しかしながら、村民の合意形成が不可欠。岩室村では、村民意識を把握しながら将来有料化に向けて検討することを目指す。



▲身をのりだして…

図書館で『絵本をつくろう!』を開催
～生懸命絵本づくりに挑戦!～

先月1日から4日までの4日間、小学3年生以上を対象とした『絵本をつくろう!』が、図書館2階視聴覚室で開催されました。子どもたちは4日間をかけて、表紙はもちろん、本の内容まで自分たち自身で作り上げました。針や糸を使ったり、表紙の布を和紙に貼ったりと、普段することのない作業に取り組んでいました。6日には、でき上がった絵本の発表会も行われ、子どもたちはこの世にたった一冊しかない、自分だけの絵本を、大事そうに抱えていました。

夏の成果を存分に発揮。和納少年野球団が準優勝
～県央の「甲子園」。県央地域選抜少年野球大会～

先月5、6日の2日間にわたり、三条市民球場をメイン会場に開催された『県央地域選抜少年野球大会』で岩室村代表和納少年野球団が準優勝に輝きました。
この大会は、県央地域11市町村の各予選を勝ち抜いたチームが参加するレベルの高い大会。強豪揃いの中、栄町、下田村、寺泊町をそれぞれ破り、決勝まで勝ち進んだ和納少年野球団は、優勝候補吉田町と対決。3回に2点を先取したものの終盤力尽き、結局9対2でやぶれました。



▲メダルを胸に堂々と



▲子どもたちは瞳を輝かせ…

「ひまわり文庫」が夏の夜のお話会を開催
～はじめての試み、静寂に包まれた種月寺で～

陽が落ちて、草木のかおりや虫の音が聞こえてくる中、自然に包まれた種月寺本堂で、先月19日、『夏の夜のお話会』が開かれました。このお話会は、子どもたちにたくさんのお話と出会い、広い世界を知ってもらおうと「ひまわり文庫」が開いたものです。静寂の中、お話が始まると、瞳を輝かせて聞き入る子どもたちや、お孫さんと一緒に耳を傾ける参加者などさまざま。会の最後はご住職の講話のもと座禅を体験。心静かに夏の夜のひとときを堪能しました。

たくさんの善意、ありがとうございます
～募金呼びかけ、炎天下の2日間～

先月19、20日の2日間にわたり、24時間テレビ「愛は地球を救う」募金活動が、ボランティア連絡協議会24時間テレビ実行委員長(木下潤さん)を中心としたボランティアの方々により、“よりなれ” “村立図書館” 前の村内2か所で行われました。
呼びかけに対し、たくさんの人たち協力していただき、募金額は225,531円となりました。この善意は、テレビ新潟を通じて24時間テレビチャリティー委員会へ寄付されました。ご協力ありがとうございました。



▲善意をありがとう